



# 静岡県立静岡がんセンター公開講座

# 「もっと知りたい!がん医療」

2004年9月5日(日)~2005年3月19日(土)(全7回)

時間/毎回 午後1時半開講・3時半終了

会場/三島市民文化会館大ホール・長泉町文化センター「ベルフォーレ」ホール

静岡県立

【主催】静岡新聞社・静岡放送 【共催】静岡がんセンター 【協賛】特種製紙株式会社

静岡県立静岡がんセンター公開講座「もっと知りたい!がん医療」を開催します。がんの予防法、検診からはじまり治療、リハビリ、社会復帰、看護にあたる家族の心のケアに至るまで、がんが私たちの人生に及ぼす様々な影響とその克服について考え、解明する7回シリーズです。講師陣に静岡県立静岡がんセンターの医師など14名を迎え、がんに関する高度な知識を分かりやすく解説すると共に、各講座、質疑応答の時間を設けて疑問などにやさしく答えていきます。

第1回 9月5日(日) 三島



**市民一人ひとりのがん対策**  
山口 建氏(県立静岡がんセンター総長)

男性の2人に1人、女性の3人に1人は、がんに罹る。こうした「がんの時代」への対策は、健康な人々とがんに罹った人々とに分けて考えます。健康ならば、予防、検診、そして症状がある時の受診を、三位一体で実践し、がんを命を落とす可能性を7-8割減らしたい。一方、がんに罹ってしまったら、「手ごわいがん患者」になって、がん克服を目指す。



**がん検診の上手な受け方**  
~画像診断を中心に~  
古川 敬芳氏(画像診断科医師)

がんを命を落とさないために早期発見、早期治療が提唱されています。そのために従来より様々な「がん検診」が行われてきましたが、有効性に疑問がもたれ、見直されているものもあります。現在行われているがん検診を紹介するとともに、新しい画像診断技術により発見されている種々のがんをご覧いただけます。

第2回 10月2日(土) ベルフォーレ



**肺がん~診断と治療~**  
近藤 晴彦氏(呼吸器外科医師)

現在、わが国ではがんが全死因の約3分の1を占めています。そのなかでもトップの病気が肺がんであり、2001年の1年間に全国で約56,000人の方が肺がんによって亡くなっています。この手強い肺がんを克服するには、正しく敵を知り対策を練ることが大切です。肺がんとはどういう病気か、そして、その診断と治療、予防などについてお話しします。



**最近の放射線治療の進歩**  
西村 哲夫氏(放射線治療科医師)

放射線治療の特長は切除しないのがんの治療を行う点にあります。このために陽子線治療、定位照射法、小線源治療など病巣に高い線量を集める様々な方法が発展してきました。また適切な抗がん剤の併用は進行がんの治療成績を向上させています。このように進歩の著しい放射線治療について最近のトピックスを分かりやすく解説します。

第3回 10月16日(土) ベルフォーレ



**乳がんの診断と治療**  
田中 久美子氏(乳腺外科医師)

女性のがんの中では増加傾向の乳がんの好発年齢は40~50代ですが、最近では30代の方も少なくありません。早期発見されれば比較的治りやすいがんですが、日本では有効な検診の普及が遅れています。乳がんはこうすれば早期発見できるのか、また診断と治療はどのように行われるのかを知っていただきたいとします。



**婦人科がんの診断と治療**  
山田 義治氏(婦人科医師)

静岡がんセンター婦人科に治療目的で入院される患者の95%以上が、子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がんの患者です。これらの治療は、病気の種類と進行度により、手術・抗がん剤・放射線治療が単独または組み合わせで行われます。症状の発現からどのようにして診断が付き、治療の方針が決定され、治療が実践されていくか3つのがんについてお話しします。

# がん克服を指そう!

## ■静岡県立静岡がんセンター

「健康で心のふれあふ安心社会づくり」を目標とする静岡県の施策の一つとして開設された。患者・家族の心と身体への全人的治療を実践する。また、静岡がんセンターを拠点として、富士山麓に医療からウェルネスまでの健康関連産業の振興・集積を図る「フルマバレー」構想も計画されている。 駿東郡長泉町下長産1007 ☎055(989)5222 <http://www.scchr.jp/>

第4回 11月14日(日) ベルフォーレ



**胃がんの診断とテラーメイド治療**  
米村 豊氏(胃外科医師)

胃がんは、50歳代から60歳代に発病することが多い胃の粘膜の悪性腫瘍です。欧米に比べ、日本人に多く見られています。近年は減少傾向にありますが、がんが深く進行する前に、適切な処置をすることが最も大切です。早期胃がんは無症状なことが多いですが、自分でみつける早期発見や治療法について解説します。



**大腸がんの診断と最新治療**  
山口 茂樹氏(大腸外科医師)

大腸がんの患者数は年々増加傾向です。しかしながら、早期がんはもちろん、進行がんでも適切な治療によって治る人のほうが多いのも事実です。大腸がんの診断から各治療法の選択、とくに大腸内視鏡治療、腹腔鏡手術、人工肛門にならない新しい肛門温存手術などについて解説します。

第5回 2005年1月10日(月)祝 三島



**がんにつき合いながら生きるコツ**  
~患者と家族の覚書~  
栗原 幸江氏(心理療法士)

医療の進歩により、「がん」の多くは慢性疾患のように長い経過をとる病気となりましたが、がんの症状や治療、先行き不安感など、患者さんのつらさには様々なものがあります。また患者さんをサポートするご家族のつらさも様々です。本講座では特に「こころのつらさとのつき合い方」に焦点をあてた「がんとの共存のコツ」について考えていきます。



**がんの後遺症と社会復帰にむけて**  
辻 哲也氏(リハビリテーション科医師)

がん治療の進歩により、「がんと共に生きる時代」になった現在でも、がんそのものあるいは治療の過程において受けた身体的・心理的なダメージに対して積極的な対応がなされることが少ないのが現実です。しかし、様々なリハビリテーションにより、患者の回復力や生活の質(QOL)を高め、早く家庭や社会に復帰させることが可能です。「がんのリハビリテーション」について、静岡がんセンターにおける取り組みをまじえてお話しします。

第6回 1月23日(日) ベルフォーレ



**褥瘡(床ずれ)からがん患者を守る**  
~重力への挑戦~  
青木 和恵氏(WOC看護認定看護師)

人が病気で動けない状態になると、体の一部に体重が集中して血管を圧迫し、血行が遮断されて褥瘡(床ずれ)が起こります。人の体重をいかに分散させて血行遮断を防ぐか。人類が「重力」という力を持つ地球に住む限り、そして、人が痛みながらも生きていくという存在である限り、これは永遠普遍的テーマです。私たち医療者の重力への挑戦。そのプロセスと成果を報告します。



**生活習慣病と食事**  
稲野 利美氏(管理栄養士)

日本人の死亡原因の上位はがん・心臓疾患・脳血管疾患で約60%を占めています。これらはいずれも生活習慣病といわれ、その多くはライフスタイルの見直しで予防できると言われています。その中でも食事の占める役割は小さくありません。今一度食生活について一緒に見つめ直してみませんか?

第7回 3月19日(土) 三島



**緩和医療とはどういう医療か**  
安達 勇氏(緩和医療科医師)

緩和医療とはどのような医療を提供してくれるのでしょうか、なぜこのような医療が目指されてきたのか、その実際を紹介いたします。私たちの理念は、がんに伴う様々な苦痛を和らげ、本人が自分らしくあることを支援するために専門家による多職種チームで積極的、継続的かつ総合的な緩和ケアを提供し、治療を目指した積極的な治療が困難なときには入院ケアも提供することです。



**医療の現場から生きることを考える**  
齋藤 賢一氏(県立静岡がんセンター院長)

人は生き続けている限りさまざまなリスクに遭遇し、自分なりに納得のいく解決策を模索し続けます。「がん」という病気も多くの人を待ち受けているリスクの一つです。どのように迎え撃つか?どのように自分らしく処理するか?それは病気を通した自分の生き方の表現に他なりません。「がん」をキーワードに生き方の選択について考えます。

◆定員/800名(先着順) ◆受講料/全7回 6,930円(税・資料代含む) ※高校生以下は無料

### 〈お申し込み〉

電話又はファクスで、受講希望人数、氏名、郵便番号、住所、電話番号、ファクス番号をお知らせ下さい。(複数でお申し込みの場合は各人必要事項をお知らせ下さい。)  
インターネットでも受け付け中です。(<<http://www.shizuokaonline.com/event/>>)  
後日、確認の御連絡をさせていただきます。 ※8月20日(金)必着締め切り。高校生以下の方で受講をご希望の方は下記までお問い合わせ下さい。

静岡新聞SBS 事業局 ☎054(284)8920 FAX 054(284)9031

(電話は平日午前9時~午後6時)

### 三島市民文化会館大ホール

三島市一番町20-5 ☎055(976)4455

JR三島駅(徒歩約3分)

駐車場:なし



### 長泉町文化センター ベルフォーレ

駿東郡長泉町下土狩821-1 ☎055(989)0001

JR三島駅(タクシー約5分)

JR御殿場線 下土狩駅(徒歩約10分)

駐車場:あり(台数に限りがあります。)



※両会場共なるべく公共の交通機関をご利用下さい。 ※講演日により会場が異なります。お気をつけ下さい。

受講生  
募集中